

平成 30 年 8 月 31 日（金）18：30 より、秋田大学医学部総合研究棟にて中央支部第 1 回ナイトセミナーが開催された。参加者は 38 名であった。

はじめに調査報告として、谷口直人企画委員より「専門認定技師に関するアンケート調査報告《がなされた。結果からは若手から中堅過ぎまで多くの会員が積極的に資格取得を目指している一方、仕事におけるリターンは実感が薄いと見受けられた。管理職側からはシフトへの配慮等しているという回答がみられるものの、実際に取得を目指す会員にとっては時間や労力をかけてもリターンやメリットを感じられず、認識が乖離した状態と思われた。これらの課題が解消され、各種の資格取得が個々人の「努力の証《だけにとどまらず発展していくことが期待される。

次に秋田大学大学院医学系研究科 環境保健学講座村田勝敬先生をお招きし、特別講演「実験データを活かす統計学入門《が開催された。日頃より深く学びたいと思うジャンルだがこのようにじっくり学ぶ機会は多くなく、楽しみに参加した。講師の村田先生からは統計学の重要性や原則の部分を丁寧にお話いただいたが、教科書的な事項もわかりやすい実例を交えてのお話だった。単に統計学が重要、というばかりでなく正しく厳密に用いることを含めて伝えていただいたように思う。また知っている部分についても理解がさらに深まり、もっと聞きたいと思ううちに時間が過ぎてしまった。村田先生は演習の重要性についても説かれており、希望する方は大学院の講義へも参加可能とのことであった。引き続き統計学をテーマに行う予定の第 2 回への期待感を持ちながら解散となった。

記 小南 衛